

＜第4回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和5年7月27日（木） 19:00～20:45
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 19名
事務 局 吉澤副支所長、松原副主幹、川合主査、山口書記
防災対策課 中島主査
オブザーバー 太田市議

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

(1) 第3回若林地域会議 会議録について〈省略〉

3 勉強会

テーマ：若林地域の災害想定と豊田市の災害事例から学ぶ防災対策
説明者：地域振興部防災対策課

- 〈会 長〉 防災に関する活動をするうえでは防災士の資格を取るべきなのか。資格を取る場合、豊田市のリーダー養成講座を受講することで十分なのか。
- 〈防災対策課〉 資格取得の手段としては市の講座受講で十分だが、それで終わりではない。資格を取得した人が、得た知識をいかに地域に落とし込めるかが重要である。防災リーダーとして地域の防災訓練等の機会に活動し、取得した知識を地域で生かすことが大切である。
- 〈会 長〉 若林で人材育成をしようとする場合は、防災対策課に頼めばいいのか。
- 〈防災対策課〉 防災対策課に依頼してもらえれば、出前講座の実施もしくは豊田市の消防防災専門指導員と防災対策課で、地域の訓練実施を支援することができる。
- 〈委 員〉 車中泊について、若林には一時的に避難するために使える駐車場がないが、どのように想定すればよいか。
- 〈防災対策課〉 特に決められた場所というより、一時的に避難ができればどこでも良い。柳川瀬公園や刈谷ハイウェイオアシスなどは一時避難場所として利用ができると考える。また、企業と地域が協定書を結び、有事の際には一時避難場所として使うという例もあるので、ぜひ活用してもらいたい。
- 〈副 会 長〉 防サイ君（起震車）が雨で使えなかったことがあった。雨でも使えるものや台数を増やせないか。
- 〈防災対策課〉 他の地域でも同じような要望は多い。現在は小雨であればできるようにはなっている。消防には検討するように伝えておく。
- 〈副 会 長〉 消防団の団員になりたい人がいないが、地域としては消防団の数が減ってもいいのか、維持する必要があるのか、増やす必要があるのか知りたい。
- 〈防災対策課〉 消防団の数は多いに越したことはない。その課題についてはどの地域も抱えている。現状、防災士になりたい人は若手が多いイメージ。地域として

そのような人を見つけてもらうことが最も重要であるとする。

4 その他

(1) 令和5年度 若林地域会議の予定〈省略〉

★次回開催

第5回定例会：令和5年8月25日（金）午後7時から 場所：若林交流館 多目的ホール